

看護師20年・3人の子育てお母さん

藤田りょうこ

都政・医療福祉対策室長 事務所ニュース

No.41 2017年6月8日

大田区西蒲田6-34-7 ☎3736-1494
fax3735-4522 Twitter@ryokofujitajcp
Facebook @ryoko.fujita.jcp



いのちを守る看護師 いのちを育む母の訴えに ひろがる共感

↑浴衣姿で訴える藤田りょうこさん。はじける笑顔でがんばるぞ! →

何としても押し上げたい 女性の会、七夕宣伝爽やかに

6月3日夕方、「藤田りょうこさんを都政に送る女性の会」が蒲田駅西口で、「ひと月早い七夕宣伝」を行い65人が集いました。藤田りょうこさんをはじめ、9人の女性が浴衣がけで参加し、催しにいろいろどりを添えました。同僚の看護師や医師、女性団体、消費税なくす会などから応援のスピーチが次々寄せられました。

本番並み3日間宣伝戦に手ごたえ

藤田りょうこさんは、6月6、7、8日の3日間作戦にのぞみ、本番さながらの迫力で訴えました。(写真は蒲田西口)



激励する人、写真を撮る人、立ち止まって話を聴く人、本人やプラスターなどに目をやる人、通り過ぎてふり向く人など大変目立つ宣伝になりました。

七夕宣伝での藤田りょうこの訴え(抜粋)

藤田りょうこさんは、みなさんの願いを短冊に託してくださいと前置きし、

築地市場の豊洲移転はキツパリ中止を訴えました。看護師として学んだ衛生学からも、殺菌力のある海水で床を洗い流す築地の衛生面を強調。都民の安全や健康をないがしろにして、大手ゼネコンに大もうけをさせてきた自民公明と石原元都知事を批判しました。

また、社会保障が年々削られているいま、誰もが安心して必要な医療や介護を受けられる政治に変えてゆく決意を語りました。

そして、2020年までに、憲法9条に自衛隊を書き込むという安倍首相の発言は、9条1、2項の空文化をねらったものだとして批判。自民党の「都議選で負ければ憲法改正に影響」との主張に対し、憲法を守り生かしていく共産党の立場を明らかにしました。



藤田りょうこさんのツイッターのフォロワー数は6月7日現在1291人を超えました。
@ryokofujitajcp

藤田りょうこさんを何としても都政へ

わたしも
応援
します!

★かあちゃんがんばれ!

藤田 俊郎

最初は反対!

最初、都政へのお話をきいたときは、もちろん反対でした。6歳・3歳・1歳(年齢は当時)の子育て中で、活動の時間が多くなるのが想像でき、特にこの年齢の子どもにとって、大きな存在の母親と接する時間が減ることは、さみしい思いをさせるでしょうし、あまりよくないと考えたからです。

未来に生きる子どもたちのために

しかし、現在すすめられようとしている政治の方向を許していると、とても子供たちが希望を持って生きられる社会になるとは考えられません。政治を変えることで「すべての人が暮らしやすい社会にする」という仕事は、未来に生きる子どもにとって大切なことであるし、私たち大人の責任でもあると考えました。

パートナーとして

現在、連日の活動が忙しい中、綾子は母親としてなるべく密度の濃い時間を子どもと過ごそうと努力しています。子どもが母の努力を理解するのはもっと先



七五三にて。左から長男(5歳)三男(1歳)次男(3歳) (2015年)

のことでしようが、私もパートナーとしてできる限りのことをやりたいと思っています。

「かあちゃん、がんばってー!」

子どもたちは現在、綾子が仕事(活動)に出かけるときに「かあちゃん、がんばって!」と言っています。いつの日か「かあちゃん、一緒に(活動)行こう!」と言ってくれればいいなと思っています(父も仲間に入れてくれればなおいいです)。

子どもたちの明るい未来のため、がんばれかあちゃん!!

告示まで15日

本番間近となりました。駅頭宣伝で他党派を圧倒するみなさんの参加をお願いします。



洗足池駅での朝宣伝(5日)

《藤田りょうこの 駅頭宣伝》

※雨天中止または変更の場合あり

朝の駅頭 7時30分~8時30分

- 6月9日(金) 蒲田東急口
- 12日(月) P10前京急蒲田東口
- 13日(火) 石川台駅
- 14日(水) 池上駅
- 16日(金) 鶉の木駅

夕方の駅頭 17時~18時

- 6月14日(水) 武蔵新田駅
- 16日(金) 蒲田駅西口

藤田りょうこ成長記 ④1

仕事、結婚、子育て40代編 藤田りょうこ

三男出産・職場異動・送り迎えの日々

9月22日三男出産。今回は大森日赤病院で帝王切開しました。出産後の痛みは子どもを産むことに強くなると聞いていましたが、確かに激痛でした。「道路交通法」の改正で、自転車の4人乗り(前後に子どもを乗せ、一人はおんぶ)は、禁止となったため、保育園の送り迎えは夫婦で行いました。幸いにも3人とも同じ保育園に入園。



育児休暇から復帰する際、職場の異動が持ちかけられ、相談の結果、けいひん訪問看護ステーション

三男の初参り。右から夫、そのとなり3男を抱く私